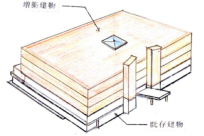
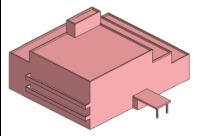
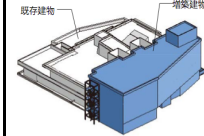
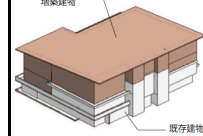
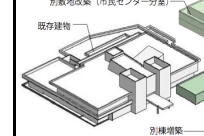
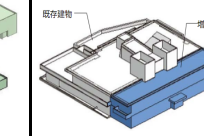


既存施設と市民提案書及びNCMの調査委託報告書内容比較

	現施設	「市民の会」の提案		NCM調査委託報告書の内容					
		市民提案書	CLT木造縦増築案 (②-2-A案)	①案・新築案	②-1案 既存改修+横増築案	②-2案 既存改修+縦増築案	③案(分散案) 既存改修+別棟増築 +別施設活用+別敷地改築	④案(縮小案) 既存改修+横増築案 別施設活用	+
	地下2階、地上2階								
			基本的に既存の部分を残したままで、木造(CLT)による縦増築(既存部分に3階を増設+地下2階、地上5階)。主に地下1階~2階は図書館、増設する3~5階を公民館	地下1階、地上4階	既存部分:地下2階、地上2階 横増築部分:地上4階	既存部分:地下2階、地上2階 縦増築部分:地下1階、地上4階	既存部分:地下2階、地上2階 別棟増築:食堂前空地利用 別施設活用:市役所・食堂&文化財倉庫&市民活動支援センターの一部 別敷地改築:駄倉地区センター改築の一部	既存部分:地下2階、地上2階 横増築部分:地上2階 別施設活用:市役所・食堂&文化財倉庫	
床面積 (㎡)	公民館の床面積(現敷地)	1,374㎡	2,205㎡	2,657㎡	2,256㎡	2,310㎡	2,313㎡	1,158㎡	1,696㎡
	(別棟)							128㎡	
	分室(駄倉地区センター)							471㎡	
	高架下(市民活動支援センター)							79㎡	
	(市役所食堂)							289㎡	289㎡
	公民館の床面積(割合)	1,374㎡	2,205㎡(100)	2,657㎡(120)	2,256㎡(102)	2,310㎡(105)	2,313㎡(105)	1,836㎡(83)	1,696㎡(77)
	図書館の床面積(割合)	728㎡	2,612㎡(100)	2,731㎡(105)	2,569㎡(98)	2,065㎡(79)	2,431㎡(93)	1,351㎡(52)	1,305㎡(50)
	共用部の床面積	1,500㎡	1,500㎡	1,554㎡	1,498㎡	1,846㎡	1,681㎡	1,418㎡	1,371㎡
郷土資料室(③・④は文化財倉庫)	70㎡	70㎡	81㎡	63㎡	80㎡	71㎡	65㎡	65㎡	
合計	3,672㎡	6,387㎡(100)	7,023㎡(110)	6,386㎡(100)	6,301㎡(99)	6,496㎡(102)	4,959㎡(78)	4,726㎡(74)	
★増床分面積	---	2,715㎡	3,351㎡	2,714㎡	2,629㎡	2,824㎡	1,284㎡(995㎡*食堂289㎡を除く)	1,054㎡(785㎡*食堂289㎡を除く)	
広場	広場面積	2,200㎡	2,200㎡(100)	2,200㎡(100)	2,030㎡(92)	1,230㎡(56)	2,200㎡(100)	2,200㎡(100)	1,570㎡(71)
工費	建屋工事費・広場工事費・設計費等			市民の会試算 20億円	39億2千万円	25億7千万円	37億7千万円	20億1千万円	17億5千万円
工事期間				市民の会試算 10ヶ月	31ヶ月	15ヶ月	40ヶ月	17ヶ月	12ヶ月
課題	●狭い ●老朽化		●既存部分の構造計算書がないので概算となるが、専門家が既存部分の上に3階を加えた縦増築案の構造計算試算(保有水平耐力)を行い、十分に安全性を確保できる(基準を満たす)ことが確認されている。 ●検討を要するが、既存部分を使いながらの増築が可能がある。 ●木造(CLT)による増築部分は補助金を得られる可能性がある。 ●公共施設でのこの種の建築法は少ないので、話題になり、見学者が多くなる。	●なぜ木造での新築を考えなかったのか。	●広場が大変狭くなり、問題。現状より約15.5m広場側に出る。	●現市民センターの構造計算書が失われているため、縦増築が出来る事を前提にした設計で、基本的には新たに基礎を設けて、そこに柱を建て木造増築部分の荷重をそれに持たせるやり方。形だけの「縦増築」。 ●実際に縦増築の可能性があると指摘にできていないし、既設部分を残すメリットもない。 ●新設壁、新設柱、新設基礎の必要理由。床荷重の不足はどの程度？	●市民提案書を満たした設計からは程遠い。総面積で1,400㎡(食堂スペースを除けば1,700㎡)狭い。図書館専用部は約半分、蔵書数は約71%に縮小。 ●中央公民館が4ヵ所(現施設+別棟施設+別敷地施設+別施設)に分散し、利便性は低下。例えば多目的室は狭くなり、団活室と利用場所が数百メートルも離れている。 ●図書館の書棚密度は現状と変わらず、車いすなどは通行できない。結局「狭い、本・雑誌が少ない」は解消されず、サービス向上は抜本的に解決されない。 ●別棟増築は食堂のみの利用者を配慮していないのではないのか？ ●食堂の使用方法はどうなるのか？ ●公民館の「談話・休憩コーナー」に開架図書「ティーンズ、シニア、異文化交流コーナー」を兼用できるのか？ ●改築駄倉地区センターの駐車場、駐輪場は足りるのか？	●市民提案書の趣旨が活かされていない。総面積で1,600㎡(食堂スペースを除けば1,900㎡)狭い。図書館専用部は約半分、蔵書数は約67%に縮小。 ●講座室は無くなり、部屋は小さくなり、ホールを分割使用する等、実態を知らない方法で面積を縮小している。 ●図書館の書棚密度は変化なし。結局「狭い、本・雑誌が少ない」は解消されず、サービス向上は抜本的に解決されない。 ●広場が狭くなり、問題。現状より約9.7m広場側に出る。 ●食堂の使用方法はどうなるのか？	
	●図書館部分も公民館部分も使い勝手が悪い。								

※維持・保全費として、日建設計マネジメント(NCM)は年約1億円を想定している。